

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和5年4月18日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立 第一小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 53 人）

4. 調査の内容

（1）児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

- （ア）小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。
- （イ）出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- （ウ）調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下、児童を対象とする場合は「児童質問紙調査」、生徒を対象とする場合は「生徒質問紙調査」、児童及び生徒を対象とする場合は「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

（2）学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	73.6	61.5	○	12.1
国語の勉強は大切だと思いますか	94.3	94.2		0.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	88.6	85.7		2.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.6	92.8		2.2
国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	83.0	83.9		0.9
国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	71.7	76.8	◇	5.1
国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか	64.1	71.1	◇	7.0
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	84.9	82.3		2.6

○昨年度と比べ、国語の勉強が好きと回答した児童が22.6ポイント増えており、研究教科として取り組んだ成果が見られる。

○「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」について、全国と比べて数値が低く課題がある。自分のよいところや相手のよいところをどのように伝えればいいかわからないことが原因だと考えられる。授業の中でも、お互いの作品のよいところを伝え合う活動などを取り入れる必要がある。

○「読むこと」の自分の考えをまとめて書く問題では、全国と比べて10ポイント正答率が低い。普段の生活で自分の思いや気持ちをうまく伝えられない、または、自分の考えをまとめることに課題がある。加えて、読み取りの時点でのつまずきも考えられる。系統的に読む指導や自分の意見や考えをまとめることの指導を続けていく必要がある。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数および平均正答率は全国と比べてほぼ変わらず、中位層より上が多い。
- ・B領域「図形」は全国より高い平均正答率が取れている。

平均正答率（本校 63／泉佐野市 59／大阪府 62／全国 62.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【A 数と計算】</p> <p>○示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することは全国と比べて低い。</p> <p>3 (2) 3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する (48.1/56.7)</p> <p>○加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることは全国と比べて低い。</p> <p>3 (3) $(151 + 49) \times 3$と$151 \times 3 + 49 \times 3$を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求め (67.3/72.4)</p> <p>○$(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることが概ねできている。</p> <p>3 (4) $66 \div 3$の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ (57.7/47.6)</p>	<p>【B 図形】</p> <p>○台形の意味や性質について理解することは全国と比べて高い。</p> <p>2 (1) テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ (69.2/59.8)</p> <p>○正方形の意味や性質について理解することがよくできている。</p> <p>2 (2) テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く (92.3/87.2)</p> <p>○正三角形の意味や性質について理解することに課題がある。</p> <p>2 (3) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く (40.4/24.9)</p> <p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。</p> <p>2 (4) テープを直線で切ってできた2つの三角形の面積の大きさについて分かることを選び、選んだわけを書く (15.4/20.8)</p> <p>【C 変化と関係】</p> <p>○伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることはよくできている。</p> <p>1 (1) 5脚の椅子を重ねた時の高さを求める (98.1/93.5)</p> <p>○伴って変わる2つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることが概ねできている。</p> <p>1 (2) 椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く (90.4/88.5)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.4	61.4		3
算数の勉強は大切だと思いますか	92.4	94.2		1.8
算数の授業の内容はよく分かりますか	75.5	81.2	◇	5.7
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.7	93.3		4.6

○昨年度と比べ、算数の勉強が好きという割合は変わらないが、算数の勉強が大切と思っている割合が増えており、全国平均との差も縮まってきている。

○算数の授業の内容がよく分かりますかという質問では、全国より5.7%低く課題がある。また、昨年度よりも16.7ポイント下がっている。

○A領域「数と計算」では、全国より低い正答率のものが多く課題がある。しかし、A領域「数と計算」の問題の無解答率は0%のものが多く、積極的に取り組んでいる。

○全ての問題において無解答率が少ないことから、問題に前向きに取り組むことができている。

○記述式の問題の正答率が全国と比べて低く課題がある。解き方をどのように伝えればいいかわからないことが原因だと考えられる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、4択以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校<本校回答率/全国回答率>
【家庭生活の様子】	○毎日、同じくらいの時刻に起きている割合が、全国を上回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に起きている。 <96.2/90.5>
	○月に1回以上新聞を読んでいる割合が、全国を上回っている。	○月に1回以上新聞を読んでいますか。 <37.8/26.6>
【自分自身について】	○自分には良いところがあると思う割合が全国を下回っている。	○自分には良いところがあると思いますか。 <71.7/83.5>
	○将来の夢や目標は持っている割合が全国を下回っている。	○将来の夢や目標は持っていますか。 <75.4/81.5>
	○友達関係に満足している割合が全国を下回っている。	○友達関係に満足していますか。 <81.1/90.3>
	○普段の生活の中で幸せな気持ちになる割合が全国を下回っている。	○普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。 <83.0/91.0>
	○読書が好きな割合が全国を上回っている。	○読書は好きですか。 <79.2/71.8>
	○外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい割合が全国を下回っている。	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいか。 <60.4/72.5>
	○日本や自分が住んでいる地域のことについて外国の人に知ってもらいたい割合が全国を下回っている。	○日本や自分が住んでいる地域のことについて外国の人に知ってもらいたいと思いますか。 <69.8/78.1>

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う割合が全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業で、ICT機器の活用している割合が、全国を下回っている。</p> <p>○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている割合が、全国を下回っている。</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合が、全国を下回っている。</p> <p>○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている割合が、全国を下回っている。</p> <p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる割合が、全国を下回っている。</p> <p>○英語の勉強が好きな割合が、全国を下回っている。</p> <p>○英語の勉強は大切だと思う割合が、全国を下回っている。</p> <p>○将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思う割合が、全国を下回っている。</p> <p>○これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった割合が、全国を上回っている。</p>	<p>○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 $\langle 67.9 / 76.5 \rangle$</p> <p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用している。 $\langle 56.6 / 86.3 \rangle$</p> <p>○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。 $\langle 67.9 / 74.4 \rangle$</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 $\langle 67.9 / 74.8 \rangle$</p> <p>○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。 $\langle 66.0 / 77.2 \rangle$</p> <p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。 $\langle 73.5 / 83.6 \rangle$</p> <p>○英語の勉強は好きですか。 $\langle 54.7 / 69.3 \rangle$</p> <p>○英語の勉強は大切だと思いますか。 $\langle 77.3 / 91.3 \rangle$</p> <p>○将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思いますか。 $\langle 43.4 / 52.5 \rangle$</p> <p>○これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど） $\langle 60.4 / 46.5 \rangle$</p>
--------------------	---	---

本校の取組

◎これまでの取組

本校では、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標とし、全国学力・学習状況調査の結果から見てきた実態を踏まえ、課題の見られている国語科を研究教科として2年目になる。研究授業の実施を含めた校内研修会を計画的に行い、以下のような取り組みを図っている。

(1) 安心して学べる環境づくり

「泉佐野スタンダード～主体的な学びの実現に向けて～」を参考にし、授業のはじめには「めあて」、授業の終わりには「まとめ」や「ふりかえり」を一貫して行ったり、学習の準備や学習規律を統一して指導したりすることで、安心して学べる環境づくりに努めている。

(2) チャイム着席

メロディーチャイム（本鈴の前に校歌のメロディーを流す）を流し、チャイムと共に授業が開始できている。

(3) 朝学：算スキ

火曜日の朝学でのスキルアッププリント・復習プリント（前学年も含む）、木曜日の朝学での100マス計算を継続的に取り組むことで、基礎基本の定着を図ってきた。また、100マス計算の計算オリンピックを毎学期行うことで、達成感が持てるようにも努めている。

(4) 朝学：国スキ・書く力の日

水曜日の朝学でのスキルアッププリント・復習プリント（前学年も含む）、月に一度の朝学「書く力の日」では、「ことばの力」や「ミニ作文」、「要約プリント」、「視写プリント」など書く課題を出し、基礎基本の定着、書く力や語彙力の向上に努めている。

(5) 国語教育の推進

前年度より研究主題を「主体的に学び、自分の思いや考えを表現する子どもの育成～説明文の読み方の指導を通して～」と設定し、説明文の系統指導表を作成することで、系統立てた指導を行ったり、校内研修をしたりすることで、国語の授業が好きな子どもの育成、主体的に自分の思いや考えを表現する子どもの育成を目指している。

(6) 授業力の向上

相互参観週間を設け、互いの授業を参観している。また、学校全体での研究授業の練り上げ、討議会、ミニ研修会を設けることで教師の授業力向上に努めている。

◎これからの取組

前年度から始めた研究教科、国語の研究主題「主体的に学び、自分の思いや考えを表現する子どもの育成」の推進や、上記のこれまでの取り組みを基本としつつ、課題が見られた点に関しては以下のように重点的に取り組む。

(国語)

・今年度より取り組んでいる「説明文の系統指導表」の活用を来年度以降も継続しながら、説明文の読み方の指導を通して、自分の思いを言葉や文で表現できる力を培っていく。

(算数)

・問題解決型学習がある時間では、学習の流れを学校で統一したり、複数の教員で支援したりするなどして、丁寧な指導を行う。

(その他)

・外国語が使えることでできること・就ける仕事を紹介するなどのキャリア教育を通して、児童に外国語の有用性を感じさせる。
・ICTの実践事例を共有する校内研修会を設けたり、ICT活用に係る関連書籍の共有をしたりすることで、教員の指導力を高める。
・様々な教科の学習の中で、子ども同士でよかったところを伝え合う場面を意識して取り入れ、自尊感情を高める。